

地盤 1 (平均地盤、高低差 ≤ 3m)

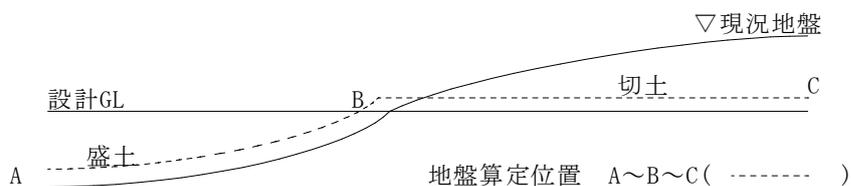
(関係条文)

令2条2項

1. 建築物の地盤は $\left\{ \begin{array}{l} \text{a: 現況地盤} \\ \text{b: 都市計画法29条、宅地造成等規制法(以下、都計法29条、宅造)による地盤} \end{array} \right.$ のいずれかによる。

a. 現況地盤

地盤レベルを変更しない場合は現況地盤とするが、変更する場合は、盛土前・切土後とする。ただし、敷地が周囲の土地や道路より低い場合であって、その盛土が衛生上又は安全上必要と認められる範囲である場合はこの限りでない。



b. 29条、宅造による地盤

- ・ 検査済証の写しを確認申請時に添付すること。
- ・ 建築工事と都計法29条・宅造工事を同時に施工する場合は、都計法29条・宅造の許可証の写しの添付によることができる。

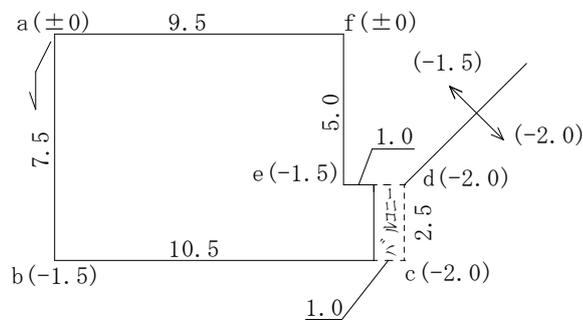
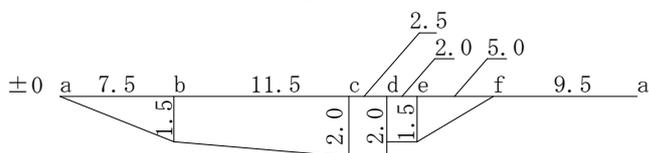
2. 平均地盤(計測位置は建物の外壁及び人の乗れるバルコニー等の先端)

配置図に、レベルを記入し見付の展開図を作成すること

CASE1 3m以内の場合

$$\text{平均地盤高さ} = \frac{7.5 \times 1.5 \times 1/2 + 11.5 \times (1.5 + 2.0) \times 1/2 + 2.5 \times 2.0 + 2.0 \times 1.5 + 5.0 \times 1.5 \times 1/2}{7.5 + 11.5 + 2.5 + 2.0 + 5.0 + 9.5}$$

$$= \frac{37.5}{38.0} = 0.987 \text{ 下り}$$



備考

西宮市建築基準法取扱い基準
2010.04.01
2024.04.01